

平成 18 年度 臨時理事会

議 事 録

平成 1 8 年 4 月 1 3 日

社団法人宮城県建築設計事務所協会

社団法人宮城県建築設計事務所協会
平成18年度 臨時理事会 議事録

【日 時】 平成18年4月13日(木)

15:00～

【会 場】 宮事協 会議室

定刻 事務局長が理事定足数23名中、19名出席、委任状2で理事会が成立することを報告し開会を宣言した。

開 会

1. 会長あいさつ

先日、日事連の会長が決定し、東京会会長の三栖氏が選任された。一方でもう1人の会長候補だった岐阜会が退会届を提出したため、急遽、4月16日(日)に常任理事会が開催されることとなった。

本日の臨時理事会では、4月20日に行われる総会に提出する決算・予算について審議の程、願いたい旨あいさつとした。

2. 議長選出 佐藤清孝副会長 を選出

3. 議事録署名人選出 千葉徹理事 (有)コス設計

高橋清秋理事 (有)高橋建築設計事務所) を選出

4. 審議事項

1. 事業報告及び決算承認について

〈資料1〉

専務理事 18年1月～3月期について決算報告を議案書に従って説明した。

田畑監事 18年1月～3月期の会計監査の結果及び事業監査の結果について報告を行った。

前田理事 会費未納損金計上の内訳を理事会では具体的に報告してもよいのではないかと。

専務理事 会費未納損金内訳について1月1日付け退会による会員未収分の損金及び未収入会金の損金を報告した。

佐々木理事 雑収入で宮建振の事務費54万円についての質疑があった。

専務理事 平成17年4月～平成18年3月の事務費月額5万円であり、先の6万円を差引き、残り54万円を今決算で計上していると説明した。

佐々木理事 事務費の定額は決まっていなかったのか。

専務理事 事業を行う前は決まっていたが、事業が始まってからはその年の事務量をみて事務費を決めていると答弁した。

佐々木理事 宮建振の商標登録は会長も知らないうちに行われていたが、税務上おかし

のではないのか。

- 専務理事 会長と部会長に承認を得て行っていると説明した。
(宮建振の商標登録の覚書を読み上げた。)
- 栗原代行 事務局が忙しいため、事務費に回した。利益も出ており、これには人件費がかかっているため、今回は54万円を事務費としたことを説明した。
- 小池理事 3ヶ月の特別会計決算で1千万多く予算を立てていることがおかしいと質疑した。
- 専務理事 予算を作成する際、市町村の入金予定をみて計上した。収入にいられて未収をたてており、同様に未払を計上していると説明した。
- 田畑監事 予算は現金主義を取らざるを得ない事情があったと思うが、決算は発生主義で行っているため収入が増えた。
- 議長 18年度事業報告は継続のため省略する。
他に質疑を求め、質疑のないこと確認し採決を行い、満場一致で承認した。

2.事業計画および予算承認について 〈資料2〉

- 専務理事 平成18年度の予算案について説明を行った。
- 佐々木理事 全国キャンペーンの予算について質疑があった。
- 専務理事 17年度は30万円で予算を組んだが、9月理事会で予算変更提案をし、日事連負担金60万円を支出し、他広告収入等で行ったため、18年度も60万円と予算を組んだことを説明した。
- 前田理事 事業積立金400万円としているが、どのような目的で予算に入れているのか。
- 専務理事 特別会計の運転資金であり、一般会計の準備金として予算を組んでいると説明した。
- 議長 採決について確認し、満場一致で承認した。

5. 承認事項

1.入退会の承認 〈資料3〉

- 前田理事 正会員入会1社。賛助会員退会5社について報告。承認を求めた。
- 議長 承認を求め、満場一致で承認した。

2.支部選出理事候補について 〈資料4〉

- 栗原代行 登米・気仙沼支部、栗原支部の組織について説明を行った。また5月18日の45周年記念式典もあり、大崎支部についても理事会で承認を得て設立したいことを報告した。
- 議長 承認を求め、満場一致で承認した。

3.平成18・19年度諮問委員(案)について 〈資料5〉

栗原代行 諮問委員の各氏について報告した。

議 長 承認を求め、満場一致で承認した。

6. 報告事項

1. 「改正建築物の耐震改修の促進に関する法律・同施行令等の解説」講習会収支報告 〈資料6〉

専務理事 講習会収支報告を行った。

議 長 承認を求め、満場一致で承認した。

2. 45周年記念式典について

栗原代行 45周年式典資料について、組織表・案内・来賓・記念誌・式典内容等報告した。案内はすでに発送しており、臨時会費1万円は社会貢献、機関紙等実費に関する金額である。また祝賀会出席者から会費徴収1万円を行う。その他式典について資料に沿って説明した。

議 長 採決について確認し、満場一致で承認した。

議長は審議の経過と結果を明確にするために、議事録を作成し、議事録署名人は記名押印する。

議 長 佐藤 清孝 印

議事録署名人 千葉 徹 印

議事録署名人 高橋 清秋 印